

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
サンクスラボ・アフタースクール熊本		令和7年3月13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	・活動によって机や椅子等を動かして環境を設定している。 ・必要に応じてパーティションを活用して空間作りを行っている。	・利用児童が10名をこえると窮屈さを感じることもあり、収納スペースがないため整理、整頓が課題となっている。移転も視野に環境改善を検討したい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・療育プログラムに応じて必要なスタッフ数に配慮する等行っております。 ・配置基準を厳守して配置しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・必要に応じてパーティション等で机上や空間を仕切り学習や活動を行っている。	・入口階段のためバリアフリー化が難しい。また、ワンフロアで構造化しにくい。移転も視野に空間の改善を検討していきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・必要に応じてパーティション等で机上や空間を仕切り学習や活動を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーティションで仕切った空間で、クールダウンしたり、相談できる空間を設定している。 ・必要に応じてイヤマフを活用。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・利用児童の情報や支援計画を朝礼やミーティング等で共有し、日々の支援や業務の改善につなげております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・必要に応じて個別にSSTに取り組みを発信している。また利用児童本人から活動や事業所での様子を保護者に伝えてもらい、家族の話題作りをしてもらう	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的にMTGの場を設け職員で共有、実施を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価はしていないが、社内の管理グループによる社内運営指導を受け、業務改善に取り組んでいる。	・外部評価の導入を今後の課題として検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間研修計画のもと、研修担当者による社内研修や外部研修への参加も推奨している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者様からお伺いした情報やスタッフ見解による日々のアセスメントを基に、一人ひとりに応じた計画を作成しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員が日頃から意見を出し合い、チーム内で協力し、立案しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・普段から確認、見返せるように連絡帳、支援記録と一緒に載せており、全職員が内容を再確認できるようにしております。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日々の行動観察や情報共有は行っているためフォーマルなアセスメントを用いてさらに客観性をあげていきたいと考えている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・各項目を踏まえ計画を作成し、保護者、職員にも分かり易いように具体的に支援内容を設定しており、利用者のニーズも考慮しながら支援を実施しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・職員全体で放課後の活動及び学校休業日の活動を情報収集しながら立案している。 ・利用児童からもやりたい活動等募っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・今利用児童にどんなことが必要か等を職員で協議しながら新しい活動を取り入れる工夫を行っている。 ・利用児童からもやりたい活動等募っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・利用児童一人ひとりの特性や目標に応じて活動を計画しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・朝礼時に情報共有をし、打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・支援終了後に振り返りを行うようにしておりますが、送迎の時間の都合上、当日に行えない場合は、翌日に振り返りを実施しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・個別支援計画における個々の目標や支援内容を基に、日々の様子を記録しております。記録を基にスタッフ間で振り返りつつ、より適切な支援に結びつけることができるよう取り組んでおります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・スタッフ間で定期的に支援会議を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	・4つの基本活動の組み合わせは日々の支援の中で取り入れて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・個性や特性に応じた選択肢の提供を行ったり、必要に応じてゼロから考えてもらうを基に支援を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・児発管や特定のスタッフが参加しているが、より情報を把握できるように今後は担当を振り分けするようにする。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・現状は連携する機会や、体制が整っていないが、今後は連携をすすめていく予定である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・学校との必要に応じた情報共有はもちろん行っておりますが、併せて事業所参観、連携会議の呼びかけ等を行っています。トラブル等が生じた場合や必要な場合は先生方と連絡調整を行い会議等を開催しております。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○			・研修会への参加は積極的に行っているが、センターと事業所の連携までは至っていない。今後、連携を図っていく予定である。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○			・今後は実施できるような体制づくりを検討してまいります。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○			・地域の子ども部会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・対面でお会いできる場所は送迎を通じて話し、難しい所に関しては連絡帳や電話、LINE等で情報の共有や交換等を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			・今後、保護者会に関連するプログラムを取り入れてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・契約時と併せて、保護者懇談会でも確認している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			・計画作成後、保護者への説明は欠かさず行っており、都度同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・日頃の情報共有に加え、家族支援も実施した。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○				
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			・SNSでの発信や、新聞も発行し、支援の目的が伝わるように工夫している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			・書類等は鍵付きのキャビネットで管理しており、写真等も保護者様のご意向をお伺いした上で取り扱っております。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・忘れやすい、情報が埋もれてしまう等の特性がある方に関しては細分化してつたえたり、連絡回数を増やす等の配慮を行っている。		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・ 今後は実施できるような体制づくりを検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・ 業務継続計画（BCP）を策定し、スタッフ間で非常災害の発生に備えて日常会話するなどしながら、定期的に訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・ 見学時、利用契約時などで、アセスメントを行い、情報収集を行っています。必要に応じて医療機関等と連携し、適切な対応ができる体制を整えております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・ 今後も保護者様から食物アレルギー等の状況をお伺いし、医療機関の連携が必要な場合は、体制を整えていきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・ 事業所の設備点検を実施し、事故等が起こった際のマニュアルの確認、それに伴う対応方法の確認をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・ 家族等により分かり易く取り組み内容等周知出来るように試行錯誤しながら継続して取り組んでいきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ 全スタッフにヒヤリハットの周知を行い、事故等につながらないよう定期的なミーティングを行ってまいります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・ 社内で虐待防止委員会を設置すると共に、全スタッフへの周知を行っておりますので、今後も継続して実施してまいります。今後は外部の虐待防止研修等にも積極的に参加してまいります。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・ マニュアルを作成し、必要な対応に取り組んでいます。また現在、身体拘束の必要がある利用児童がいらっしゃいませんが、必要に応じて対応をしていきます。	